

わかりやすい鋼橋の架設Ⅱ

— 施工計画へのアプローチ —



平成19年 9 月



社団法人

日本橋梁建設協会

目次

第1章 架設工法および工法の選定	1	3.2.1 接合方法の概要	50
1.1 工法の種類	1	3.2.2 摩擦接合のポイント	50
1.1.1 ベント工法	1	3.2.3 トルシア型高力ボルト継手の施工上の留意点	51
1.1.2 送出し工法	2	3.2.4 高力六角ボルト継手の施工上の留意点	53
1.1.3 片持ち式工法	7	3.3 現場溶接	53
1.1.4 ケーブル式工法	8	3.3.1 施工計画の要点	54
1.1.5 一括架設（大ブロック）工法	10	3.3.2 溶接施工法	54
1.2 現地調査	12	3.3.3 非破壊検査	58
1.3 工法の選定	12	3.3.4 品質管理	58
1.3.1 工法選定における留意点	14	第4章 架設機材	61
1.3.2 工法の選定手法	15	4.1 概要	61
1.4 実施工事における工法選定事例	18	4.2 ベント工法における機材	61
1.4.1 ベント工法の選定事例	18	4.2.1 ベント設備	61
1.4.2 送出し工法の選定事例	20	4.2.2 自走クレーン	63
1.4.3 片持ち式工法の選定事例1	22	4.3 送出し工法における機材	64
1.4.4 片持ち式工法の選定事例2	24	4.3.1 手延べ機および連結構	64
1.4.5 トラベラークレーンによる径間毎の一括架設工法の選定事例	26	4.3.2 駆動装置	64
1.4.6 CE直吊り工法の選定事例	28	4.3.3 横取り設備	68
1.4.7 CE斜吊り工法の選定事例	30	4.3.4 降下設備	68
1.4.8 CCによる一括架設工法の選定事例	33	4.3.5 架設術	68
1.4.9 大型搬送車による一括架設工法の選定事例	34	4.4 トラベラークレーン工法における機材	69
1.4.10 FCによる一括架設工法の選定事例	36	4.4.1 トラベラークレーン設備	69
1.5 架設計画書	38	4.4.2 その他設備	69
第2章 架設設計	39	4.5 ケーブルエレクションにおける機材	69
2.1 概要	39	4.5.1 ケーブルクレーン設備	69
2.2 準拠示方書、適用基準等	39	4.5.2 直吊り設備	70
2.3 架設中の荷重および許容応力度・安全率	39	4.5.3 斜吊り設備	70
2.3.1 架設中の荷重の種類	39	4.6 一括架設工法における機材	71
2.3.2 安全率	41	4.6.1 大型搬送車による一括架設機材	71
2.3.3 許容応力度	42	4.6.2 台船による一括架設機材	72
2.3.4 荷重の組合せと許容応力度の割増	42	4.6.3 フローティングクレーンによる一括架設機材	73
2.3.5 架設工法別荷重の組合せ事例	42	第5章 床版	75
2.4 本体構造物の照査	42	5.1 概要	75
2.4.1 設計の留意点	42	5.2 RC床版	75
2.4.2 架設時応力および対策事例	42	5.2.1 コンクリートの打込み計画	75
2.4.3 架設途中の安定照査	45	5.2.2 床版コンクリートの施工	76
2.5 仮設構造物の設計	45	5.2.3 初期ひび割れとその対策	80
2.5.1 留意点	45	5.3 PC床版	81
2.5.2 設計事例	46	5.3.1 PC床版の特徴	81
第3章 現場接合	49	5.3.2 PC床版の材料	81
3.1 概要	49	5.3.3 場所打ちPC床版	82
3.1.1 高力ボルト接合技術	49	5.3.4 プレキャストPC床版	83
3.1.2 溶接接合の採用条件	49	5.4 合成床版	85
3.2 高力ボルト接合	50	5.4.1 概要	85
		5.4.2 合成床版の施工	85

5.4.3	コンクリートの施工	89
5.5	床版の防水および排水システム	90
5.5.1	防水システム	90
5.5.2	排水システム	90
第6章	安全・品質管理	91
6.1	概要	91
6.2	安全衛生管理	91
6.2.1	事故発生状況	91
6.2.2	遵守法令, 通達	91
6.2.3	施工計画とセーフティアセスメント	92
6.2.4	安全衛生管理体制	92
6.2.5	建設労働安全衛生マネジメントシステム	93
6.3	品質管理	94
6.3.1	架設現場での品質管理	94
6.3.2	写真による品質管理	94
6.3.3	ヒストグラムの品質管理への活用	94
6.3.4	ISO9000について	94
6.3.5	工事成績評定について	95
6.4	入札契約の適正化について	95
6.5	品質確保の促進法について	97
6.5.1	概要	97
6.5.2	総合評価方式について	97
6.6	施工体制について	98